



編集発行

第
52
号

富山県立八尾高等学校

教育情報部・図書委員会

富山市八尾町福島 213

TEL 076-454-2205

令和5年2月28日

なぜ歴史を学ぶのか

校長 日下 泰夫

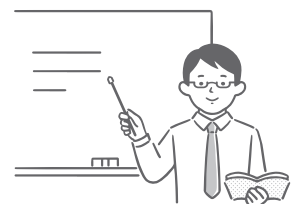
私は、平成元年から高校の教壇に立ち、地歴・公民科の科目のうち、主に日本史を担当していました。毎年4月の最初の授業で生徒たちに必ず伝えていたことが、「なぜ歴史を学ぶのか」です。「歴史は、過去に起こった出来事などから、なぜそれが起きたか、その理由や関係性を考え、その教訓を現代に活かすためにある。だから過去の人々の叡智や失敗から学ぶことが大事なのだ。」とか「偉人の生き様を理解することで、自分自身の成長に結びつけることができる。」「歴史を学ぶことで教養の幅が広がり、判断力・決断力を培うことができる。」など大局的なことを話すのですが、結局のところ全て同じことを言っています。要するに社会の構造（システム）について理解を深めれば、それが自分の判断・決断の拠り所（ベース）になるということです。同じようなことを池上彰氏も「歴史は決して暗記科目ではない。歴史の前後には常に因果関係があり、いくつもの出来事の積み重ねによって形づくられている。」と『池上彰の18歳からの教養講座』の中で述べています。歴史は理解する必要がある、と私も繰り返し言っていました。理解は、一見繋がりのない事柄にも興味を持ち、常に「なぜ」、「どうして」と思うことから始まります。以下、過去の私の授業から一部を引用します。

舞台は平安時代、国風文化の授業。『枕草子』は清少納言、『更級日記』は菅原孝標の女、『源氏物語』は紫式部、『蜻蛉日記』は藤原道綱の母…、といった感じで作品名と作者を結びつけて淡々と授業を進め、頃合いを見て次のように展開させます。貴族社会において、①「なぜ、この時代こんなに女流作家が出現したのか?」、②「古典作品に香が

出てくる場面が多くあるが、何のために香を焚くのか?」、③「当時の美人の条件は?」などと生徒に問いかけます。

これらの答えは、国語の授業でも出てくるとはいますが、その答えを理解するためには古典作品の時代背景や貴族社会のシステムを知らなければなりません。それこそが、因果関係なのです。日本史の授業では、ここからが真骨頂となります。①は、当時の婚姻形態がポイントとなります。婚姻形態については省略しますが、要するに彼女らは代筆業なのです。男性を惹き付けるために、気の利いた、会いたいと思わせる手紙を送るために、中宮や女御らは優秀な女官（女房）が必要だった、と繋いでいきます。②では、当時の衣服、風呂、トイレはどうだったのか、という点に視野を広げ、「匂い」をキーワードに授業展開します。（ここでは書けないが、一番盛り上がる場面）③は、「色白」や「髪の長さ」などと生徒からすぐに答えが返ってくるのですが、では色白をキープするために、あるいは髪を伸ばすためにどんな努力が必要だったか。そしてそれに伴ってどんな弊害あったか、といった流れから授業は最終盤を迎えます。そして最後に教科を横断するのですが、これからは国語科の古文で古語や文法、口語訳を覚えるだけでなく、古典作品から香りや色を感じ取って楽しんでほしい。そうすれば、古文も日本史も理解が深まりますよ、と伝えて授業終了のチャイムが鳴ります。（こんな理想的な展開は滅多になかった…）

自分の授業（歴史）を振り返ると上手くいったことよりも失敗したこと、つまらないことばかり思い出されます。その苦い教訓を活かしたい!と、久しぶりに授業がやりたくなりました。



令和4年度 教養講座

「私のテラ・インコグニータ」



- ❖ 講 師 本校教諭 飯田康信先生
- ❖ 期 日 12月20日(金) 15:40～16:40
- ❖ 場 所 図書館



「テラ」とは地球・大地、「インコグニータ」とは認知されていない、という意味だそうで、つまり、「私の知らない地」というテーマでお話いただきました。

前任校時代、交流事業の生徒引率でオレゴン州のポートランド市の高校を訪れた際の、高校事情や街の様子など、体験談を交えながらの講義に、生徒たちは興味津々で、楽しく学ぶことができました。

受講した人の感想

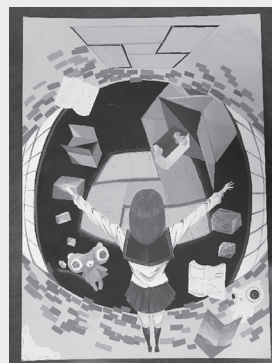
- 外国には、日本に興味を持ってくれる人がいることを知り、驚きました。
さらに、外国には美しい場所がたくさんあることを知ることができました。

いつかは、自分の目で見てみたいと思いました。

- 私の知らない世界の景色の写真をみることでおもしろかったです。
日本の中でも知らないことがたくさんあるし、富山の中でも知らないことがたくさんあるので行ってみたいし調べてみたいと思います。
行くことによって得ることもたくさんあると思うので、自分からたくさんすることに挑戦していきたいと思いました。
- 日本の学校とアメリカの学校を比べると、アメリカの方が一回の授業人数が少なかったり、質問があるとたくさん手を挙げたりしていて、日本とは全然違うことを知りました。
日本語教室や日本の文化、遊びを積極的に行っていると知りとても驚きました。
ポートランドにある日本庭園はアメリカとは思えないほど再現されていてすごかったです。
知らない土地に行くのはとても勇気のいることですが、いつか挑戦してみたいです。
- 日本と海外の違いについて、先生の体験談からの話がわかりやすかったです。
知らない土地に足を踏み入れることは、とても勇気のいることで、恐怖心もあるかもしれないけれど、踏み入れることで新しい学びがあったり、今まで体験したことがないことを体験できたりもすると思うので、これから機会があれば挑戦したいなと思いました。



第34回読書感想画中央コンクール富山県高等学校の部において、11H 下尾彩花さんの作品が県代表に選ばれました。



『四畳半の世界』
（「四畳半神話体系」・森見登美彦著）

校内読書感想文コンクール

校内読書感想文コンクール(第68回青少年読書感想文全国コンクール校内選考)

★最優秀賞 24H 森 蒼衣

「人との付き合いの難しさ」

(『さくら』西加奈子：小学館)

私が今回読んだ本は、西加奈子さんの「さくら」という本だ。

私は普段はあまり読書をしないので、どんな本を読もうか非常に迷った。この本を選んだ理由は、以前に父から薦められた本だったからだ。また、家族をテーマにした小説であり、私の家族構成と似ているところが気になって読んでみようと思ったのだ。

この本のあらすじは、5人の家族と1匹の犬が繰り広げる家族物語だ。家族の中でヒーローだった兄の一は、事故に遭ったことで不自由な身体、酷い姿になってしまい、20歳4か月で自殺してしまう。兄の自殺によって、妹の美貴は内に篋もり、母は肥満化し、酒に溺れ、父は家を出た。僕・薫も実家を離れ、東京の大学に入った。あとは、見つけたときに尻尾にピンク色の花びらをつけていたことで「サクラ」と名付けられた12歳の老犬が1匹。そんな一家のある年の暮れ、「年末、家に帰ります。」という父からの手紙をもらい、薫は、実家に帰った。

この物語には、薫が実家に帰った後の話だけでなく、兄が自殺する前の過去の出来事やそのときの人物の心情がとても細かく書かれている。そして、家族の中で起こる変化には、サクラが大きなカギとなる。

この物語を通して作者は、自分と家族や大切な人との間に生まれる様々な感情を様々な視点から細かく表現している。その間に生まれる感情は、まっすぐに純粋な感情だけでなく、憎しみや苛立ち、性的な感情、周りの人から見て変わっている感情など様々である。それを作者は、そんな感情でも周りや違って、その感情を大切にすべきであると物語を通して伝えている。そして、その感情を言葉や行動で示すことでまた、違う感情が生まれる。私は、これらのことを物語の中で人物の言葉や行動だけでなく、飼犬のサクラの動きからも読みとれると思った。

物語中、サクラは何度も尻尾を振る動きを見せている。犬が尻尾を振るのは、相手への好意や穏やかな服従を示しているときであると言われている。その他にも、尻尾の振り方によって、甘えやリラックスしている状態を表すこともあるそうだ。サクラは

物語の中で家族といるときいつでも尻尾を振っていた。たとえ、家族がつらく、悲しい状況でも尻尾を振っていた。これらのサクラの動きから、家族への好意や服従の他に、家族がつらくて悲しんでいるからこそ、励ましを表した動きだったのではないかと思った。作者は、もし自分が犬だったら、どんなときでも家族や大切な人の前では尻尾を振るというように読みとれ、強い愛情を持つ人なのだと感じた。

この物語を読み、確かに私も家族や大切な人に対する感情は、純粋な愛情だけではないと思う。家族や大切な人だからこそ、他の人に対する違う感情を持ったり、ささいな言葉や行動を大げさに受けとめたり、感情的になることも多いと思う。実際に私は、家族と他人が同じ発言、同じ行動をしたとしてもそれに対する感情は少し違う気がする。家族は一番身近な存在であると感じることから、変に強気に出たり、憎しみや苛立ちの感情を持つことが多いと思う。でもそれとは逆に、家族よりも他人に憎しみや苛立ちを感じる人が多い人もいるだろう。物語の中でも、家族に対する感情が人物によって大きく異なっていることが読み取れた。また、物語に障害を持っている人物や同性を好きになる人物が出てくる場面があった。兄の一や薫はその人物に違和感を覚えていたが、事故によって不自由で醜い姿になってしまった一は、周りから嫌な視線で見られ、今まで経験したことのない反応をされてしまう。それによって二人はどんな人間でも同じ世界で必死に生きているのだと感じるようになった。私も自分や周りの人と少し違った感情をもっている人や価値感が全く違う人を無意識に差別しているのではないかと思った。この簡単な場面から、相手の立場になって考えることや相手に思いやりをもつことは、言葉にすると、簡単なことのように思えるが、実際に実行するのは難しいことだと思った。

今回この物語を読み、家族や大切な人への様々な感情を大切にしようと思った。また、人によって感じ方の違いや私が経験したことのないような、感情を持つ人がいることを理解したいと思った。理解するために、相手の立場になって考え、思いやりを持つことを忘れないようにしたい。

校内読書感想文コンクール入賞者 (R4)

1 学年

最優秀賞

13H 桜井佳乃子 「人々が支え合うことの大切さ」
(『その扉をたたく音』瀬尾まいこ：集英社・課題読書)

優秀賞

14H 麦谷 光翼 「『クジラの骨と僕らの未来』を読んで」
(『クジラの骨と僕らの未来』中村玄：理論社・課題読書)

佳作

12H 小西 結菜 「合唱は『勇気』を与える」
(『表参道高校合唱部！涙の数だけ強くなれるよ』桑畑絹子：学研プラス)

12H 浦井 遥花 「生きていくために必要なのは、『人』」
(『その扉をたたく音』瀬尾まいこ著：集英社・課題読書)

2 学年

24H 森 蒼衣 「人との付き合いの難しさ」
(『さくら』西加奈子：小学館)

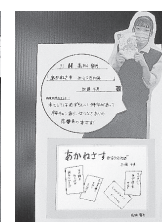
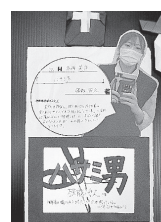
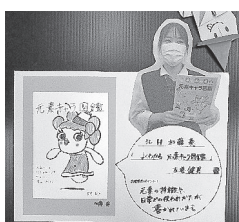
22H 関 水姫 「飛びたい私」
(『カモメに飛ぶことを教えた猫』ルイス・セプルベダ：白水社)

24H 濱 ひより 「自分の本音を言う大切さについて」
(『ばくらの七日間戦争』宗田理：KADOKAWA)

* 審査の結果、第68回青少年読書感想文全国コンクール・富山県審査会の課題読書部門に13H桜井佳乃子さん・14H麦谷光翼くんの作品を、自由読書部門に24H森 蒼衣さん・22H関 水姫さんの作品を出品することになりました。

図書委員会の活動

高啼祭 POP 展示



「BOOK POP INTRODUCE」

9月30日(金)・10月1日
(土)に、3年に一度の学園祭

《高啼祭》があり、図書委員会では、自分の好きな本を紹介するPOP作りをしました。折り紙でハロウィン仕様のものを作ってPOPと一緒に貼る

作業も行い、たくさん工夫することができて良かったです!!

このPOPをきっかけに本に少しでも興味をもってもらえたら嬉しいです。



「読書週間イベント・校内放送での本紹介」

10月27日(木)～11月9日(水)の読書週間期間中、自身のおすすめ本を校内放送を使って紹介しました。3分程度で簡単なあ

らすじと見どころを話したり、冒頭だけ読み聞かせをしたりしました。とても緊張しましたが、自分の好きな本またはおすすめしたい本を知ってもらえるきっかけになると思い、頑張って原稿を作りました。

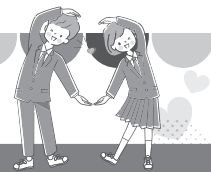


年間を通しての仕事

年間を通しての図書委員の仕事として、カウンターでの貸出・返却作業・除籍作業・蔵書点検・書架整理などがあります。私は図書委員の仕事は初めてだったため、たくさんの仕事にとっても苦戦しました。特にカウンターでの貸出作業と、書架整理がとても難しく感じました。カウンター作業では、主に本の貸し出しの手続きを行いましたが、中学校の仕組みと違い、借りる人の名前をファイルから見つけ出す必要があったため、時間がかかり、書架整理では、本に書いてある番号を見て対応する場所に本を戻す仕事のため、番号の位置の本棚を覚えるのがとても大変でした。3学期にも仕事は、たくさん残っているので頑張りたいと思います。



図書委員が選ぶ各分野の 推し本



0分野

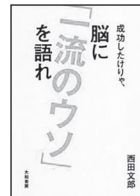
「図解まるわかり メタバースのしくみ」
波多間 俊之
007.1 ハ



みなさんは、メタバースを知っていますか？これはメタバースを支える新しい技術や活用例を図解とともに分かりやすく紹介している本です！2021年 Facebook 社が突如メタバース宣言を行いメタバースという語が広まりました。メタバースが私たちの人類の新たな世界となるのか。一緒に理解を深めて行きませんか？

1分野

「成功したけりや、脳に「一流のウソ」を語れ」
西田 文郎
159 二



断言しましょう！良いウソは「幸せ」になる力を持っています。だからこそ、多くの人に良いウソを使いこなして欲しいのです。言葉、思い、動作・表情の3つのウソで、人生は思いのまま動き出します。具体的に「ウソ」をどう使ったら、あなたの人生が大きく変わっていくのか、お伝えしましょう！《全人類よ、ウソをつけ》

2分野

「137億年の物語—宇宙が始まってから今日までの全歴史」
ロイド・クリストファー
209 ク



歴史の本といえ、僕は今まで日本史や世界史の本しか知りませんでしたが、この本には宇宙が始まってから今日までの137億年の全歴史が書いてあり、驚きました。歴史が好きな人はもちろん、自然科学が好きな人にもオススメできる一冊です。

3分野

「未来を変える目標—SDGs アイデアブック」
Think the Earth
331 カ



SDGsをわかりやすく、楽しく知ってもらうために、インフォグラフィックや写真、マンガなどを使い、17個の目標の説明をし、優れたアイデアに焦点を当てた世界の活動34事例を紹介しています。この本を通じて日本や世界で行われているいろいろな活動を知り、僕でもできる小さなアクションからでも実践していきたいと思いました。

4分野

「OCEAN LIFE 図鑑 海の生物」
スミソニアン協会、ロンドン自然史博物館
468.8 エ



世界のあちこちの海に生息する神秘的で珍しい海洋生物たちについて描かれている図鑑です。海に住む植物や、有名な画家が描いた海の絵画など、海洋生物以外についても詳細に説明されていて、「海」の図鑑という表現のほうが正しいように思えてくる本になっています。おススメはシロカツオドリ、マモンツキテンジクザメ、オワンクラゲのページです。

5分野

「イチバン親切なお菓子の教科書」
川上文代
596.6 カ



様々な種類のお菓子のレシピが載っている本です。ノーマルなものから工夫したものまでいろいろなレシピが揃っており、とても分かりやすく、見た目も味も良いお菓子が作れます。お菓子の作り方だけでなくトッピング、飾りつけの仕方まで載っているので、プレゼント用のお菓子作りにとでも向いていると思います。

6分野

「中国 名茶紀行」
布目 潮風
619.8 ヌ



皆さん、喫茶について深く考えたことはありますか？喫茶は、中国の飲料史の一部として誕生しました。そんな喫茶の始まりから、唐代の「茶経」をへて、今日のような飲み方に至るまで、ゆかり深い地域を訪ね歩く形で中国ほぼ全地域の茶に関することを教えてください。

7分野

「花づくし折り紙」
小林一夫
754.9 コ



世界中で origami として楽しまれている日本の伝統的な折り紙。桜や椿など四季を感じるたくさんの花の折り方が、写真やイラストで分かりやすく紹介してあります。立体的でオシャレ、色鮮やかなお花で、お部屋を飾ってみませんか。ぜひ作ってみてください！

8分野

「サイのものがたり—白川静の絵本」
白川 静
821 シ



「口」は様々な漢字に含まれていますが、その本当の意味は知っていますか？神に祈り、誓うときの「祝詞を入れる器」の意味があるそうです。この本は普段私達が無気なく触れている漢字の成り立ちについて書かれている本で、背景となる絵が、漢字の成り立ちに神秘性を添えていて、イメージが広がります。

9分野

「54字の物語史—超短編小説で学ぶ日本の歴史」
氏田雄介、西村創
913.6 ウ



人気シリーズの第4弾。日本の歴史背景がわかりやすくまとめられており、54字で書かれた「物語」が90話載っています。難しい話も、物語の次ページにある解説を読んで理解することができます。事実とは違った空想話が織り交ぜられていて、おかしいけれど面白い、そんなお話がたくさん詰まっています！

全校貸出いろいろランキング

貸出数 TOP 3



5冊

「傷物語。」
西尾維新



5冊

「黒牢城」
米澤穂信



5冊

「掟上今日子の裏表紙」
西尾維新

個人貸出冊数 TOP3

- ★ 1位 70冊
- ★ 2位 60冊
- ★ 3位 38冊

学年別クラスごと貸出冊数 1位

- ★ 1学年 3組 127冊
- ★ 2学年 3組 95冊
- ★ 3学年 2組 31冊



令和4年度 図書委員会の1年間の活動

- 4月 新入生図書館オリエンテーション
生徒図書委員会
- 5月 図書委員ビブリオバトル
- 7月 蔵書点検
高啼祭「POP」作成開始
- 9・10月 高啼祭「POP」展示
- 10・11月 読書週間イベント 校内放送
- 12月 第1回教養講座
「私のテラ・インコグニータ」
- 12月 図書委員会「ともしび」第52号編集委員会
- 1月 「ともしび」作成
- 2月 「ともしび」52号発行



- ※毎月 図書館だより発行 月毎の飾りつけ
- ※毎日 カウンター当番 書架整理
- ※各クラス HR 読書会・ミニビブリオバトルの準備・進行

令和4年度 図書委員会

(◎は委員長・○は副委員長)

11H 福島 紗良	藤野 崇河
12H 小西 結菜	森 拓真
13H 加藤 駿哉	山田 瑞貴
14H 松岡 心結	麦谷 光翼
21H 馬場 達也	山本 幹太
22H 浅野 隼清	山口 聡華
23H 米田 陽葵	村下 実優○後期
24H 西田 希実	堀田 美香◎後期
31H 高松 梨月○前期	中島 花奈
32H 加藤 葵◎前期	松井 美空
33H 濱野 稀羽	石坂 桃
34H 山本あかり	久保山 空

編集後記

今年度は、日々の図書館だより作成、書架整理、除籍作業に加え、本の読み聞かせや教養講座、ビブリオバトル等の企画を実施しました。読書週間を機に行った全校放送読み聞かせでは、図書委員が様々なジャンルの本を紹介しました。皆、自分の仕事に責任をもち、充実して取り組むことができました。また、図書委員がおすすめした本が貸し出しされていることが何度かあり、うれしく感じました。「ともしび」を読んで図書委員会の活動を知ってもらい、またより多くの人々が本に興味をもってもらえると嬉しいです。

後期図書委員長 堀田 美香